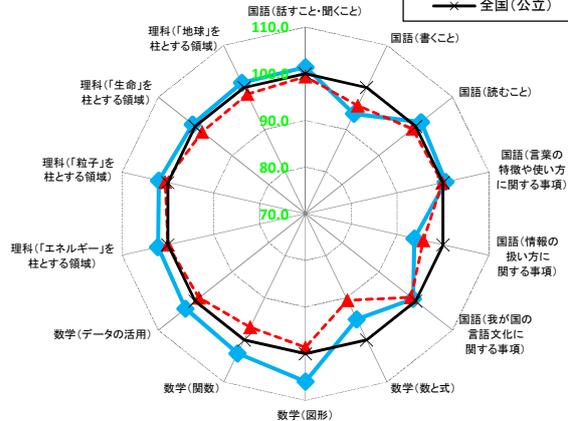
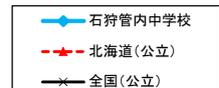
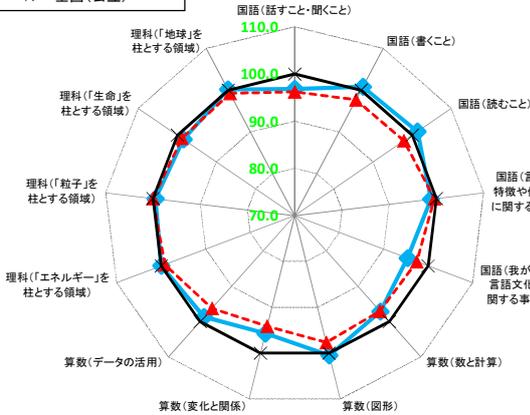
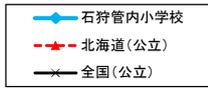


■石狩管内の状況及び学力向上策（小学校数：262校、児童数：16504人）（中学校数：131校、生徒数：14890人）

小学校【教科全体の状況】

平均正答率	小学校国語	小学校算数	小学校理科	中学校国語	中学校数学	中学校理科
石狩管内	65[65.1]	62[62.0]	63[62.8]	69[69.2]	52[51.6]	50[50.1]
全国（公立）	66[65.6]	63[63.2]	63[63.3]	69[69.0]	51[51.4]	49[49.3]

中学校



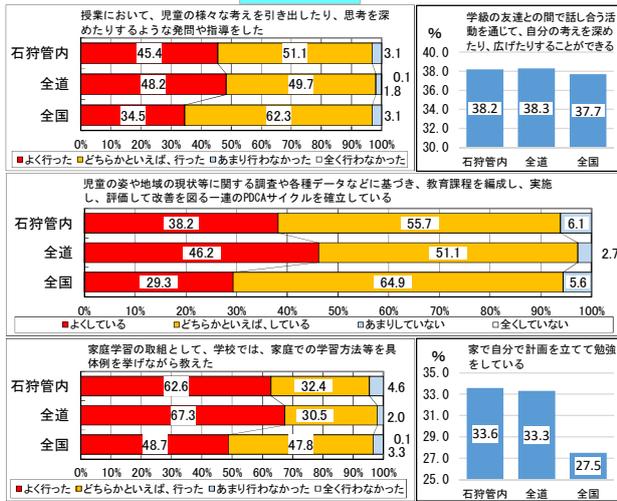
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したもの（管内の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

【平均正答率の推移】「管内の平均正答率－全国（公立）の平均正答率」の経年変化

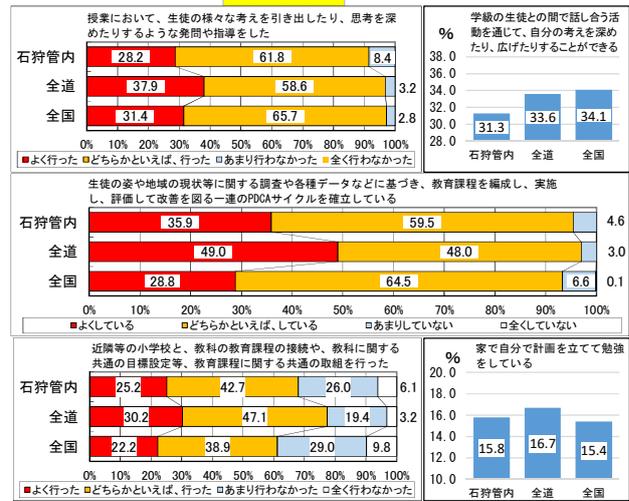


【質問紙の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

授業において、児童の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をするなど、授業改善の取組を進めたことにより、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるという回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立したことにより、国語の「書くこと」「読むこと」の領域、算数の「図形」の領域、理科の「地球」を柱とする領域で全国及び全道の平均正答率を上回るとともに、理科の「エネルギー」を柱とする領域で全国及び全道の平均正答率と同じになったと考えられる。

管内の多くの小学校において、家庭学習の取組として、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えたことにより、家で自分で計画を立てて勉強をしている児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

中学校

授業において、生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしている学校の割合や、学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるという回答した生徒の割合が、全国及び全道を下回っていることから、対話的な学びの充実に向けた授業改善の取組をより一層進める必要がある。

生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立したことにより、国語の「話すこと・聞くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域、算数の「図形」「関数」「データの活用」の領域、理科の全ての領域で全国の平均正答率を上回ったと考えられる。

管内の多くの中学校において、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行ったことにより、家で自分で計画を立てて勉強をしている生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

【石狩管内の学力向上策】については、次ページの学力向上の取組を参照ください。

石狩管内における学力向上の取組

1. 管内課題と重点的な改善策

(1) 「授業力」の向上

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点等、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりを進めるなど、教員一人一人の授業改善の取組を充実する必要がある。
- 身に付けさせる資質・能力を明確にした授業づくりを推進する。
- 対話的な学びの充実に向けた、考えを広げたり深めたりする授業づくりを推進する。

(2) 「組織力」の向上

- 学校全体で各種調査の分析結果を授業改善に結び付けるとともに、カリキュラム・マネジメントの実施により、学力向上に向けた各取組を結び付ける等、検証改善サイクルの実質化を図る必要がある。
- 校長の方針のもと、各種調査や授業評価等の結果を踏まえ、学力向上の取組の検証・改善を推進する。
- 資質・能力を確実に身に付けさせる「学びの保障」に向けて、指導計画の検証・改善を推進する。

(3) 「連携力」の向上

- 義務教育9年間を通した目指す子ども像の実現に向けて、小中連携の取組や家庭・地域と連携した学習習慣の確立に向けた取組を推進する必要がある。
- 家庭・地域と連携した生活習慣・学習習慣の改善に向けた取組を推進する。
- 学校経営方針やグランドデザイン等の公表による家庭や地域、中学校区での目標の共有及び小・中学校の教育課程に関する共通した取組を推進する。

2. 具体的な取組

月	(1) 「授業力」の向上	(2) 「組織力」の向上	(3) 「連携力」の向上
10	市町村教育委員会との学力向上に係る協議 組織力強化会議②（学力向上担当、ミドルリーダー等） 教育長会議	市町村教育委員会との学力向上に係る協議 組織力強化会議②（学力向上担当、ミドルリーダー等） 教育長会議	市町村教育委員会との学力向上に係る協議 石狩WEBチャンネルの取組
11	学力向上に関するヒアリング 管内学力保障会議 校長会 各学校の取組状況の確認(取組の評価) ②	学力向上に関するヒアリング 管内学力保障会議 校長会 各学校の取組状況の確認(取組の評価) ②	学力向上に関するヒアリング 各学校の取組状況の確認(取組の評価) ②
12	管内教育推進の重点に係る取組の評価 各種事業における取組の評価 授業力向上研修会(②ICT等) (ICT担当、研究担当教員) 算数・数学授業改革研修会	管内教育推進の重点に係る取組の評価 各種事業における取組の評価 授業力向上研修会(②ICT等) (ICT担当、研究担当教員) 算数・数学授業改革研修会	家庭学習の取組事例の紹介 管内教育推進の重点に係る取組の評価 各種事業における取組の評価
1			
2	市町村別教育推進会議(市町村教委、校長等)	市町村別教育推進会議(市町村教委、校長等)	市町村別教育推進会議(市町村教委、校長等)
3			

3. 取組の評価

(1) 「授業力」の向上

- ①「日常の授業において『目標』や『振り返り』の位置付け」
＜管内教育推進の重点に係る評価1(2)(3)＞
 - ・現状 小…82.8%、中…74.4%
 - ・目標 小…100%、中…100%
 - ・達成値 12月に評価
- ②「学級やグループの中での『対話』や『発表』などの学習活動の位置付け」
＜管内教育推進の重点に係る評価1(4)＞
 - ・現状 小…62.5%、中…59.0%
 - ・目標 小…100%、中…100%
 - ・達成値 12月に評価

(2) 「組織力」の向上

- ①「調査や各種データ等に基づき、教育課程の改善を図るPDCAサイクルの確立に向けた取組」
＜管内教育推進の重点に係る評価1(1)＞
 - ・現状 小…79.7%、中…84.6%
 - ・目標 小…100%、中…100%
 - ・達成値 12月に評価
- ②「児童生徒の『学びの保障』に向けた指導計画の工夫・改善の取組状況」
＜管内教育推進の重点に係る評価1(8)＞
 - ・現状 小…65.6%、中…69.2%
 - ・目標 小…100%、中…100%
 - ・達成値 12月に評価

(3) 「連携力」の向上

- ①「『学校の授業以外に、普段1時間以上勉強する』と回答した児童生徒」
＜管内教育推進の重点に係る評価1(6)＞
 - ・現状 小…50.0%、中…38.5%
 - ・目標 小…80.0%、中…80.0%
 - ・達成値 12月に評価
- ②「近隣等の小・中学校と、教科の教育課程の接続など、教育課程に関する共通した取組」
＜管内教育推進の重点に係る評価21(3)＞
 - ・現状 小…53.1%、中…59.0%
 - ・目標 小…80.0%、中…80.0%
 - ・達成値 12月に評価

4. 改善点

(1) 「授業力」の向上

- 授業改善に向けた取組の推進
 - ・1人1台端末の効果的な活用の推進に向けた「第2回授業力向上研修会」を実施
 - ・算数・数学の授業改善の推進に向けた「算数・数学授業改革研修会」を実施
 - ・授業改善の要点を解説した動画を作成し、オンライン配信及び学校教育指導訪問、校内研修等で活用

(2) 「組織力」の向上

- 授業改善の充実を中核とする学校経営の推進
 - ・学校経営における授業改善の必要性について共通理解を図るため、「教育長会議」を実施するとともに、教育長会や校長会、教頭会、管内の教育研究会の代表等を対象とした「管内学力保障会議」、管内全小・中学校及び義務教育学校長を対象とした「校長会議」を実施

(3) 「連携力」の向上

- 学校関係者、保護者、地域住民を対象とした情報発信の充実
 - ・「石狩WEBチャンネル」による、生活習慣・学習習慣の改善に向けたオンライン講義や民間の学習塾等と連携した家庭学習の方法についての動画コンテンツの作成
 - ・局独自研修等で、日常の授業と関連付けた家庭学習の取組事例や各学校の好事例について周知